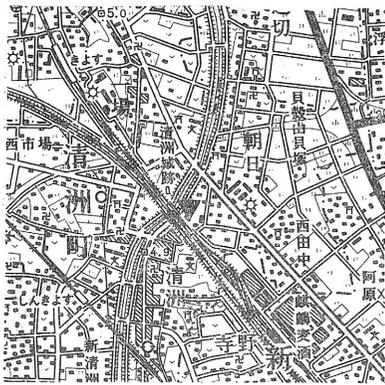


## 愛知・清洲城下町遺跡(2)

- 1 所在地 愛知県西春日井郡清洲町
- 2 調査期間 一九八七年(昭62)一月～三月
- 3 発掘機関 清洲町教育委員会
- 4 調査担当者 高橋信明
- 5 遺跡の種類 城郭・都市跡
- 6 遺跡の年代 平安時代～江戸時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(名古屋北部)

清洲(須)の地名は、一四世紀頃の『神鳳抄』にキヨスとみえるのが最初である。清洲の歴史的重要性が高まったのは、文明八年(一四七六)に尾張守護所が下津城から清洲城へ移されてからである。尾張の中心都市としての機能は、織田信長の入城から、慶長一五年(一六一〇)の名古屋城築城までである。以後、五条川を利用した城下町は解体され、美濃街道の宿場町とな



いしひふしてせ  
のあつて  
てす  
あな  
やの

ひも  
はり  
り  
り  
り

(2)